

墨田区議会

自由民主党会派報

発行
墨田区議会自由民主党
墨田区吾妻橋 1-23-20
発行責任者 中村 光雄
編集責任者 出羽 邦夫

区議会ホームページ
<http://www.city.sumida.tokyo.jp/kugikai/>

今後4年間、墨田区政の舵をとる 我が会派議員14名!!

**第1回臨時本会議(5月26日)で、
議会構成が決まる。**

**定例本会議(6月8日~7月2日)が開かれ
会派の主張、意見を展開。**



(本会議場の議席に並ぶ会派議員)

我が会派から選出された 議長、副議長、常任・特別各委員会委員及び新執行部のご紹介



墨田区議会自由民主党
幹事長 坂下 修

心新たに会派一致団結し頑張ります

墨田区議会議員選挙には皆様の温かいご支援を賜り誠にありがとうございました。お蔭様で、自由民主党公認十四名の当選を果たすことができ、引き続き区議会第一党として責任ある役割を担うことになりました。心新たに、区民の皆様にお約束申し上げた公約を一つひとつ実現するため、会派一致団結して頑張ります。

墨田区にとって、今後の四年間は大きな転換期を迎えることとなります。新タワーの建設に伴い観光事業をはじめとする従来には無かった産業の振興、新しいまちづくり、周辺環境の整備など、様々な問題を解決しながら、基本計画の着実な実施、新たな墨田区立学校適正配置の実現、安心・安全なまちづくり、子育て支援、高齢者対策の充実に力を注いでまいります。区民皆様のより一層のご支援、ご指導を我が自由民主党に賜りますようお願い申し上げます。

【新執行部】

坂下 修、木内 清、沖山 仁、
樋口敏郎、山本 亨



墨田区議会議長
中村 光雄

議長あいさつ

議長就任にあたって

私は、去る臨時本会議において区議会議長に選任され、身に余る光榮に存じますとともに

幹事長あいさつ

に、その職責の重さを痛感しております。さて、本年は新たに策定された新基本計画の実質的なスタートの年であります。また、四年後の新タワー完成に向けて、新タワー関連事業が具体的に動き出すとしても大事な年でもあります。一方、一時の危機的な財政状況を脱したとはいえ、まだまだ行財政改革の推進は重要な課題でございます。

このような中で、議会の果たすべき役割と責任は非常に大きなものと受け止めております。私は議長として、区民福祉の向上や区民生活の安定のため行政に対するチェック機能をはじめとした議会の権能を十分に発揮できるように、円滑かつ活発な議会運営に誠心誠意努めます。

今後、区民の皆様への期待と信任にお応えしてまいりますので、一層のご支援ご協力をお願いいたします。



墨田区議会副議長
桜井 浩之

副議長あいさつ

10年後、20年後の墨田を見据えて

平成十九年度は墨田区政施行六十周年にあたる節目の年となります。その歴史を検証することもさることながら、四年後の「すみだタワー」竣工を見越し、今後の飛躍的な墨田区発展を成し遂げることが、私ども墨田区議会にとって大きな課題と考えます。従来より、西高東低と言われるように、東京の東部地域は国や都の財政や民間資本の投下が低調であったため、西部地域との格差が生じています。新タワーを起爆剤として、墨田区は、東部地域全体に経済の波及効果をもたらす立場になるものと考えます。十年後、二十年後の墨田区がどのような姿であるべきか、引き続き真剣に考えてまいります。

常任委員会

【企画総務委員会】

区政の総合的な計画、予算、組織、広報公聴などに関する事項や、他の委員会に属さないことを担当する委員会です。



(写真右から) 木内 清委員長、坂下 修委員、桜井浩之委員

【地域都市委員会】

地域コミュニティ、文化振興、危機管理、リサイクル、清掃、環境保全、商工業振興、消費者対策、まちづくり、公園、道路や河川など、区民生活に密着した事業を担当する委員会です。



(写真右から) 中沢 進委員長、中村光雄委員、沖山 仁副委員長、福田はるみ委員

【福祉保健委員会】

子育て支援、高齢者・障害者福祉、介護保険、健康づくりや保健衛生などの推進を図る委員会です。



(写真右から) 西原文隆委員長、田中邦友委員、林 恒雄委員

【区民文教委員会】

戸籍、国民健康保険、国民年金、税務などの窓口業務や、学校教育、スポーツ振興、生涯学習などの教育行政を進める委員会です。



(写真右から) 樋口敏郎委員長、瀧澤良仁委員、出羽邦夫委員、山本 亨委員

特別委員会

【都市開発・災害対策特別委員会】

災害や大規模開発事業、鉄道立体化や地下鉄の建設促進及び区内の交通体系の整備などを推し進める委員会です。

林 恒雄副委員長、中村光雄委員、樋口敏郎委員、山本 亨委員

【行財政改革等特別委員会】

区の行財政改革及び地方分権推進に関する事項について、調査や審査を行う委員会です。

中沢 進副委員長、田中邦友委員、沖山 仁委員、桜井浩之委員、福田はるみ委員

【新タワー建設・観光対策特別委員会】
新タワーの建設や周辺環境整備、国際観光都市実現などを推し進める委員会です。

瀧澤良仁委員長、出羽邦夫副委員長、西原文隆委員、坂下 修委員、木内 清委員

第2回定例会での質問概要

平成19年6月8日～7月2日

代表質問



木内 清

●今期に臨むにあたって

問 選挙期間中に選民から聞いた意見や批判について、区長は、二期目の墨田区政の舵取りをされることになったが、この度の選挙遊説の中で、多くの区民の声を聞き取ってきたというところが、区政に対する区民の意見や期待、あるいは批判をどのように受け止めているか。

答 望みも先ず、実効性ある中小企業振興策を望む声が多かった。また、高層ビル・マンションへの不安感や地域コミュニティ崩壊などの危惧、子育て支援やお年寄りの生半端に満ちた暮らしへの要望など、区民の声は様々であった。今後は、「住み続けたい」と思ってもらえる墨田づくりに向け、協治・ガバナンスの理念を頭脳に、区民の声が適切に区政に反映されるようなシステム構築を図っていく。

問 先日の区長選挙で掲げられたマニフェストで、区民に七つのプログラムの実施を約束されたが、今後四年間に取組んでいきたい主要な項目も含めて質問したい。

答 平成十九年度の都区財政調整制度の算定で調整率が増え、最終的な都区間の役割分担については決着をみていない。昨年度に「都区間のあり方検討会」が発足したが、その議長である山崎区長基本的な考え方について伺う。

問 本格的な地方分権時代の到来に合わせ、都と市と同様の性格を持つ団体になるべき区は、真に市として、都のあり方を検討するに当たっては、広域的自治体である都の基礎的自治体である区の事務配分を明確にする必要がある。都と区が主体的に、できるだけ速やかに、明日の東京の礎となる新たな都区あり方を協議していきたい。

答 協治・ガバナンスとは、墨田区に住む人や関わりのある人々から、自分の持つ力を墨田区に提供してもらい、行政と共に「心と心」をつなぎあわせて快適な暮らしのできる街を創ろうと言うことだと私は考える。それは、「人材育成」がキーワードになると思うが、区長は「協治・ガバナンス」による区政・地域社会づくりのようになさる考えで実践しようとするのか。

問 区民、地域団体、NPO、企業、区など多様な主体が、それぞれ果たすべき責任と役割を自覚しながら、共に考え、行動することで地域の問題解決を図ろうと言う考えで既に取り組みを始めており、総合窓口となる区民活動推進課を設けて情報発信を積極的に行っているところである。実践するためには、コーディネート役となる職員育成も必要となる。これは地道な活動の継続が必要であり、区民参加の場の提供、人材バンク、更には苦情を提言と受け止める考えなど多くの課題について、十分検討していきたい。

問 四年後に完成する新タワーを起爆剤として、新タワーの波及効果と連携事業について、

答 区の地域経済の活性化、特に、観光を中心としたまちづくりにつなげたいと公約されたが、区内の商店街にどのような波及効果を期待しているか。また、観光施策の周辺区との連携事業については、墨田区が中心となり、周辺区や民間団体などに呼びかけた「新タワー観光サミット」を開催し、観光客の誘導やリピーター確保のための策定を急ぐべきと考えるが、区長の考えを伺う。

問 新タワー完成後の経済波及効果については現在調査・分析中だが、区内の観光資源を整備し、それぞれの施設を回遊するルートづくりや移動手段を確保し、面的な広がりを持った観光展開と商業活性化を推進したい。本年度は押上・業平橋周辺地区と両国地区をスタートとし、各商業拠点地区の目標と方針に基づいた整備を進め、区内各商店街に経済波及効果を取り込めるよう図っていく。

問 周辺区との連携については、台東、江東、中央など墨田区東部地域全体の活性化を促すために観光連携を深めていく。観光サミットは大変有意義だと考えており、具体化について関係区の区長の意向を聞きながら対応していきたい。

問 タワー全体の建設は東武鉄道の負担、その周辺整備は本区と区議会自由民主党は、東武鉄道が新会社を設立する際、地元区と区として一定の発言力を確保するよう求めたい。また、東武鉄道の状況について伺う。

答 出資は区の地域活性化等に与える影響等を考慮し発言権を確保するために行うものであり、新タワーに直接関係するものではない。現時点で、新タワーに直接関係するものはない。現在、要請があった時点で区議会とも相談し適切に対応したい。

問 区の知名度や注目度が向上することになり、訪れる人々を通して、世界に情報を発信する可能性がある。例として、葛飾北斎の紹介、環境ふれあい館と連携した環境モデルの構築、防災機能を活かした都市防災の先進モデル、障害者や高齢者がいきいきと働ける就労モデル事業、子どもたちの情報体験学習など、様々な分野での活用が考えられる。これを戦略的に構築し、これからのまちづくりの中で具体化していきたい。

問 本区のまちづくり、特に、新タワーに関連したまちづくりは限られた時間の中で推進

しなければならぬ。また、不燃化促進事業の見直し、ワンルームマンションの規制問題、景観の問題、耐震化の対応と急がなければならない課題が山積しているが、区長が目指すまちづくりの基盤的な考えを伺う。

問 今年度末を目指して、墨田らしい景観、新タワーを核とした活気あるまちを、防災都市、定住環境や福祉環境の整備などを方針として、現在、改定検討委員会や区民ワークショップにおいて検討を行っているが、その結果を、都市計画マスタープランの改定に反映させたい。都に策定する景観基本計画では、重点地区の指定や、地域の特色を踏まえた建物高さなどのルールとなる地区別計画の指定など視野にいれ、墨田らしさを漂わせるあり方について、その考えを示したい。

問 国は、改正教育基本法の趣旨を踏まえ、社会総がかりで公教育を再生し、「新教育時代」を切り開いていくことを強く求めている。本区での新しい教育指針について教育長に質問する。

問 本区においても、新しい教育指針について改訂を行い、本年度中に最終案をまとめることとなるが、現時点での教育指針の目指すところとそのスケジューリングを伺う。

問 「子どもたちが自立して生きる力を高める教育を進めよう」という教育理念を明確にし、中長期的なビジョン」とその具体化のための方策を示すものとして、現在策定の準備を進めている。教育指針改定案での検討結果をもとに、本年度秋までには案を提示し、区議会や区民の意見を聞き確定していく。

問 公立学校離れと言われる最近の傾向の中で、「墨田の学校教育」が目指すもの、果たすべきものについて伺う。

問 公立学校離れの実態を墨田区であると、小中学校段階で数パーセント、中学校入学期段階では四分の一程度の児童は生徒が私立学校以外に進学しているのが現状で、特に、中学校に対して厳しい選択の圧力が突きつけられていると感じている。そうした中で、私立学校は児童や生徒、保護者ともより地域社会からも「信頼される学校づくり」に努めなければならないと考えている。授業力向上の取組みを進めると共に、学校経営計画などで検証可能な数値目標を設定し、成果と課題を検証しつつ次に生かす改善サイクルを確立することが重要だと考える。

問 本区では、「学力向上新すみだプラン」の更なる推進と、授業改善の取組みを進めているが、更に、学習状況調査や児童、生徒の学習到達度を記録する「版権・個人学習アロワール」の作成が計画されていると聞く。その具体的な方向と活用について伺う。

問 一人ひとりの子どもたちの学習状況や到達度を把握し、学力向上につなげることを目的として、中学を卒業するまで、継続したきめ細かな指導を行うための素材を作成したいと考えている。これまでの土曜補習教室などの取組みを更に充実・改善させ、基礎的学力の着実な定着

に努めると共に応用力をつけるための問題解決型学習の取組みも支援していく。

問 「すみだらしい教育」の展開について、子どもたち一人ひとりの人格形成をうながす公教育の中で、「自分らしい生き方を力」を身につけさせるための視点と、「すみだらしい教育」の展開について決意を伺う。

問 墨田区は、歴史と伝統のある、文化ともの豊かなまちである。この素晴らしいことを伝え、誇りと愛情をもち、人と人との関わりが豊かになるような教育を、地域や家庭の皆さんと共に進めることが教育行政を担う者の責務と考える。「一人ひとり異なる力」「社会の一員として積極的に行動できる力」を育成することを主眼とし、生き方を育む力を「社会の中で自分らしい生き方を担う子どもたち」を教育行政を牽引して責任を持って育んでいきたいと考えている。

問 区は、観光プラザ整備事業として、新タワー1階決定に伴う観光都市づくりの幅を広げ、中央エリアにとどまらず、区内の経済的活力を促進する観光特区として、多彩な魅力や個性の産物に堪能してもらう場として事業の推進を図るべきだと考え、幾つかの観光特区を提案し区長の見解を伺う。

問 JR東日本国鉄ビル間の特快通過に天蓋をつくり、レイザービルの設置して夜間は映画等を投影し、JR Aの一階ホールを開放しライブ活動にも使うことができれば、南側の商店街に活力を取り戻す一つの手段になると考える。

問 江戸時代からの、ゆかしい文化を伝える花街と墨田公園をつなぐ観光ルートを創出すれば、夢のある新しい観光スポットになると考える。

問 新しく建設する北斎館の周囲に清流の道をつくり、川を放流すれば、同じ北斎美術館を持つ津和野や小布施のように情緒ある美術館になると考える。

問 新タワー中央エリア観光特区

問 観光特区については、現在改訂作業中の「観光振興プラン」や観光回遊性創出のための「観光まちづくり交通連携戦略策定調査」を進めていく中で検討したい。

問 また、観光のまちづくりを進めていく上で、特区の必要が生じた場合には、国の特区制度を活用

することも考えたい。

問 橋本高原学園を閉鎖し、校外学習の場を高

校があるなど聞くが、その内高は温泉も出る。墨田区に障害者や介護者などの適応訓練の場としても活用できると考える。再精査して、機能回復と野外教育の複合施設として建設されることを望む。区長と教育長の所見を伺う。

問 新たな基本計画策定作業の中で、郊外区民施設あり方を含め慎重に検討した結果、単なる保護施設ではなく、民間事業者によるノウハウに基づいた野外活動施設を誘致するのが望ましいとの結論が出た。従って、野外活動施設を中心に、区民の健康、体力、健康づくりなども取り込んだ施設にするよう、民間事業者に提案していく。その際、機能回復や野外教育施設の導入が可能かどうかも含めて検討したい。地元との連携も図りながら、区民にとりよりよい施設整備に向けた検討をしていきたいと考えている。

問 生涯学習は教育委員会の所轄事務から離れ、区長の判断により区長事務局で行うという法改正が目前であると聞くが、これはいかなるものかと感じる。様々な教育を実践していく生涯学習こそ、教育的本質を議論し実践し深めていく場であり、生き方を教育的に考究し展開する場でもある。十分な検討が必要だと考えるが、教育長の所見を伺う。

問 生涯学習・スポーツの分野については、従来にもまして各年代、世代にわたる、また、青少年の健全育成や児童の安全の問題など、横断的で迅速な解決を要する行政課題も増えていることから、各部署の一体的な対応が求められているのが現状だ。こういった社会的背景や法改正の動向を見据えながら、教育委員会としては、課題を整理し区長事務局と協議しながら適正な所管のあり方や組織の再編を見極め、検討を進めていきたい。

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 生涯学習活動の教育委員会所轄に引き継がれることについて、

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

問 高杖高原の施設について

出羽邦夫議員、全国市議会議長会から20年表彰を受ける



表彰状

出羽邦夫 氏

全国市議会議長会

20年表彰状

平成19年7月2日

総力!! SUMIDA 自民党

四月の統一地方選挙において、我が自由民主党会派議員に対しご支援を賜り誠にありがとうございます。会派議員十四名が一丸となって区政に取り組んでまいります。今後とも、ご指導ご鞭撻をよろしく願います。

中村 光雄
〒四国4-7-10、403
☎三六三二七七八七〇



『初志貫徹』
勇気ある発言、責任ある行動、
確かな決断力
初心を忘れず、皆様のために働くことを生甲斐に。
この気持ちを大切に、これからも全力で仕事をしてまいります。

西原 文隆
〒上1-25-5
☎三三二二六九五七〇



『汗と真心の政治』
「新東京タワー」は実施設計の段階に入りました。
完成の暁には、墨田区全域が活性化されるよう頑張っております。

瀧澤 良仁
墨田5-33-4
☎三六一一四〇〇三



『一真良政』
真心をこめて良い政治を行います
区民生活の安定施策は区の基本、区内の地域・生活格差をつくらぬよう、新たな墨田区の基礎づくりに努力してまいります。

出羽 邦夫
八広4-11-19
☎三六一六五八三四



『ふるさと墨田に誇りと愛着を』
子どもたちに、歴史と文化を伝え、更に、緑豊かな環境をつくり、「故郷」と誇れる街にします。

木内 清
本所2-9-5
☎三六二四八二三五



『しっかりと仕事をします』
清心・活力・実行のもと、区民の皆様の付託に応えるために、日々、全力で頑張ります。ご指導ください。

坂下 修
向島3-18-10
☎三六三二七八七〇



『子育て支援、高齢者対策に全力を！』
いま、緊急の課題となっている子育て支援、高齢者対策に全力を尽くし、一層の行政改革に取り組んでまいります。

中沢 進
堤通1-5-9
☎三六一一〇七四〇



『子どもたちを守るために』
私立幼稚園児の補助金を増やします。認可、認証保育園と、園児・保護者の補助金をアップするために財政改革をやりぬきます。

桜井 浩之
立花5-28-3
レジデンス石原210
☎五六三二七七五七



『意志あるところ道あり！』
強い志を持ってすれば、どんな困難な事でも道は開かれる。常に、前向きな姿勢で、問題解決へ全力で取り組みます。

林 恒雄
江東橋1-8-7
☎三六三一一九三四



『世の人の為に尽くす』
地球温暖化を抑制する観光都市づくりを目指したい。障害をもつ者や介護をする人々の明るい居場所を広げたい。

沖山 仁
京島1-39-19、18
☎三六一六二〇五〇



『自由と民主』
他からの束縛がないことを「自由」と言い、国の主権が人民にあることを「民主」と言います。私の所属は「自由民主党」です。

田中 邦友
八広1-39-17
☎三六一六五八三四



『新たな基本計画の着実な推進を！』
新たな基本計画を着実に推進するため、私は「区民が主役の区政」を信条として、取り組んでまいります。

編集後記
「新タワー建設・観光対策特別委員会」が今期から特別設置され、いよいよ建設に向け始動します。「新タワー」を起爆剤に、墨田区全域、商工業・観光事業等多岐にわたるその効果が現れるよう、会派の英知、区民皆様の声を集約して、要望してまいります。また、二十年先の墨田区を見据えた「新基本計画」もスタートしました。ブロックごとの施設のあり方、学校の適正配置、協力の進め方など区民に直接関わる諸問題も数多くあります。皆様の声を一番多く聞いている我が自由民主党が頑張らなければなりません。今後とも、ご意見、ご要望をお寄せください。
(出羽邦夫)

福田はるみ
業平4-5-16
☎三六二五八一三九



『スマイル すみだ！』
皆が笑顔でいられる街のために
女性の視点で、すみだを、より素敵に、より住みやすい街にしていきたい。ご指導を宜しくお願い致します。

山本 亨
向島5-42-3
☎三六二二〇〇一〇



『使命・責任・スピードの区政』
大好きな“すみだ”のために、一生懸命働きます！！
初心を忘れず、区民の皆さんの声をしっかりと区政に届けます！

樋口 敏郎
八広3-6-3
☎三六一七四二二九



『活力と笑顔あふれる街を！』
商工業の発展と次代につなぐまち・人づくりを目指し、活力と笑顔があふれる街づくりに尽くしてまいります。